PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)とは、汎用プラスチックに分類される樹脂の材料です。PPの耐薬品性を維持しながら強度向上。

Glass Fiber PP ・ PP 30%ガラス

最終更新：2026/10/30

1.14 g/cm³	80 MPa	110 °C
比重（密度）	引張強さ	最高使用温度

ASA・ABS樹脂・POMとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン) このページ	ASA (アクリロニトリルスチレンアクリレート)	ABS樹脂
引張強さ	80 MPa	45 MPa	40-50
硬さ	—	—	R100-1 Rockwe
線膨張係数	—	—	—
最高使用温度	110 °C	85 °C	70-85
密度	1.14 g/cm³	1.07 g/cm³	1.04-1. g/cm³
溶接性	—	—	good （溶剤接

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- PPの耐薬品性を維持しながら強度向上
- 有機溶剤・酸・アルカリに良好な耐性
- 軽量で低コスト
- 剛性・寸法安定性が向上

主な用途

- 自動車バンパー・内装部品
- 家電製品筐体
- 工業用コンテナ
- 化学タンク

選び方

コストを抑えて耐薬品性と強度を両立したい場合に。

メリット

- 耐薬品性
- 軽量
- 低コスト
- リサイクル可能

デメリット

- 耐熱性限定
- 紫外線に弱い（要添加剤）

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	110 °C	—
HDT	155 °C	0.45MPa

物理的性質

密度	1.14 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の密度（比重）は？

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の密度（比重）は1.14 g/cm³です。

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の引張強さは？

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の引張強さは80 MPaです。

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の最高使用温度は？

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の最高使用温度は110 °Cです。

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)の主な用途は？

PP-GF30 (ガラス繊維強化ポリプロピレン)は、自動車バンパー・内装部品、家電製品筐体、工業用コンテナなどに使われます。